

2月13日、春一番が観測され、延岡では気温が22.5度まで上昇、5月上旬の暖かさが数日続きました。そんな中、第47回延岡西日本マラソン大会が開催され、全国から約300名の選手が出場、北方町からも3名（北方町出身者含）の方が出場されました。ぽかぽか陽気の中、汗だくになりながら必死にゴールを目指す選手や沿道から声援を送る多くの観客の姿がTVに映し出されていました。

また、宮崎市では2月16日からWBC日本代表選手の合宿が開催されました。イチロー選手や松坂投手、ダルビッシュ投手、日向市出身の青木選手などが宮崎に集まりました。全国から訪れたファンは24万人を超え、連日スポーツコーナーのトップニュースを飾っていました。スポーツイベントが地域活性化に与える影響の大きさを感じました。

3月は各学校で卒業式が行われます。小学生は中学校へ、中学生は高校進学など様々な分野へ進んでいきます。それぞれの夢と目標を抱いて、スポーツに勉学に励んでもらいたいと思います。今月号は、そんな子供たちの意見発表や芸能発表が行われた「第3回元氣な北方の子どもを育む教育フォーラム・干支の町きたかた女性をつどい」等を中心に編集しています。

北方町の人口H21.2.1現在
(前月比)

男 2,234人(2)

女 2,425人(-1)

計 4,659人(-1)

世帯数1,825戸

○下鹿川・上鹿川地区がいきいき集落に認定されました

宮崎県が公募していた「いきいき集落」に、県内15市町村、55の地区と集落が認定されました。延岡市では唯一下鹿川・上鹿川地区が認定されています。この「いきいき集落」は、集落の活性化について、住民自らが考え行動し、中山間地域が持つ多面的機能の維持、存続に務めている集落が認定されたものです。

下鹿川・上鹿川地区では産業祭やもみじ祭りなどを開催すると共に、集落内の道路に彼岸花の植栽をするなど観光客の誘致を図っています。また、閉校になった小学校を利用してイベントを開催するなど、交流人口の拡大を図る取り組みをしています。このような活動が認められて、今回「いきいき集落」に認定されました。

「いきいき集落」に認定された地区と集落は、今後、県のホームページ等を通して活動状況が広く発信されるとともに、集落同士のネットワークづくりなどが図られていきます。

県では引き続き「いきいき集落」の募集を行っています。

※お問い合わせは

宮崎県総合政策課中山間・地域対策室(電話 0985-26-7036)または、北方町総合支所地域振興課(47-3600)まで



(昨年の上鹿川紅葉まつり)

○甲斐榮二さん(早上)へ

(人権擁護委員を退任)感謝状が贈られました

このほど、人権擁護委員として5期15年間にわたり務められた早上地区の甲斐榮二さん(76歳)へ感謝状が送られ、その伝達式が2月12日延岡市長室で行われました。

伝達式では、首藤市長立会いのもと法務大臣感謝状と宮崎県人権擁護委員連合会長感謝状及び記念品が手渡されました。

伝達式終了後、「15年の長きにわたりご尽力いただきありがとうございます。今後とも後進の指導をお願いします」と首藤市長より長年の労がねぎらわれていました。



第3回元気な北方の子どもを育む教育フォーラム

干支の町きたかた女性のつどいが開催されました

第3回元気な北方の子どもを育む教育フォーラムと干支の町きたかた女性のつどいが2月1日、北方文化センターで初めて合同で開催されました。

これは、昨年7月から取り組んでいる学校支援地域本部事業をより多くの方に知ってもらおうと開催されたもので、会場には約500名の方が訪れていました。

この事業は、学校を様々な面から支援することで、教育環境の充実と学校と地域の交流を活発にして地域全体の活性化につなげていこうという取り組みを行うものです。

当日は、オープニングで幼稚園児と保育園児による歌とダンスが行われた後、小中学生と婦人会員の意見発表が行われました。また、意見発表につづいて各地区婦人会の芸能発表や各小学校の学習発表が行われました。

意見発表者名

学校名	氏名	題
北方小6年	中尾 慎吾	「未来の北方を考えよう」
城小6年	甲佐 大輝	「大好き北方」
美々地小6年	山田 塔子	「ノーテレビデーに取り組んで」
三槿小6年	荒木野みちる	「よりよい未来のために私のできること」
北方中2年	高見 謙信	「私たちの北方中」
婦人会副会長	菊池 文子	「一緒に育てよう地域の宝」

※意見発表の中から婦人会副会長菊池文子さんの内容を紹介します。

「一緒に育てよう
地域の宝と婦人会」
婦人連絡協議会副会長
菊池 文子

私たち婦人は、現在、11地区約200名の会員です。婦人会設立当時は1,000人以上いた会員も現在は減少が続いています。

昨今、核家族化が進んでおり、この町も少子、高齢化が進行している中、婦人会員も、その地区組織そのものの参加が減少しているのが実状です。そんな中少ない人数でも、今の婦人は元気に活動しています。

中略 活動内容紹介、まだまだ、たくさん楽しい事がありますが、私たち会員は、常に新しいテーマで今日より、明日と前向きに取り組んでおります。

今若いお母さんたちは、子どもの教育、子育て等で精一杯だと思います。私自身もそうでした。しかし、嫁に来ると同時に婦人会に入りました。最初は戸惑い

ましたが、今思えば、良かったと思います。子育ての悩みや家庭内の悩みなど、いろいろな問題はあっても、月1回の婦人会の会合に参加する事で諸先輩の意見を聞いたり、子育てをする中でいくととなく精神的に助けられました。

そして、1番良かった事は、地域とのふれあいができた事です。地域の中に溶け込む事は、地域を知ることにつながります。大自然の中に生活できる事に誇りを持つ事が出来ます。私たち親が地区に根ざして生活できる事は、子、孫にきちんと自分たちの町のよさを伝える事につながると思えます。

全国でただ1ヶ所「干支の町」という誇れる歴史を持つ北方町です。いま北方インターの開通により延岡市街地との行き来が便利になりました。婦人も21年度より延岡、北浦、北川との合併予定です。地域の特色を生かしながら大きな

組織としてスタートを切る事となります。確実に時代の変革の中で、会のあり方も運営も徐々に変わりつつあります。

現在学校支援地域本部事業の取り組みが行われていますが、婦人会組織こそがボランティア活動のさきがけではないでしょうか。戦中戦後、隣近所の助け合いの精神から生まれた婦人会です。原点に返って、私たち婦人も将来この北方を担っていくであろうことも、私たちを、今この教育フォーラムのスローガンでもある「あの子も、この子も北方っ子。皆で育てよう地域の宝」を皆で育てるお手伝いのできる婦人会として皆で歩んでいけたらいいなと思っています。

皆様のご協力、ご理解をいただき今回は、教育フォーラムとの合同開催できる機会を与えていただき感謝しております。有難うございました。

○防火水槽が完成しました

このほど蔵田地区に防火水槽（50t級）が完成しました。
 この防火水槽は、電源立地地域対策交付金事業により整備されたもので事業費約540万円、蔵田営農研修館駐車場に建設されました。



（地下埋設型耐震性防火水槽の本体据付状況）

春の全国火災予防運動が

実施されます(3月1日～7日)

日頃から火災予防に努めましょう。

○広葉樹の森づくり 城小学校「みどりの少年団」が植樹しました

城小学校「みどりの少年団」の児童と関係者、合わせて約60名が参加して2月26日、曾木地区の霧子山にオガタマの木の苗など約160本を植樹しました。



（豊かな森づくりをめざして植樹する子どもたち）

これは、針葉樹（主に杉の木）を伐採した後の未植栽地に広葉樹の苗木を植栽することにより、土砂流失防止等を目的に行われたものです。

植樹されたオガタマの木、くぬぎ、樫の木の3種類の苗は、2年ほど前から城小学校の子供たちが育ててきたものです。

子供たちは、大きく育つようにと一生懸命植付け作業を行っていました。

☆桜の名所づくり（桜の苗木植栽） 参加者募集！



（桜記念館）

故大原一三氏の寄贈により、平成17年に建設された桜記念館周辺の荒平公園内へ桜の苗木約200本の植樹を行います。
 現在、植樹に参加されるボランティアの方を募集しています。
 希望される方は、下記のとおりご参加ください。

- ・日 時 平成21年3月15日（日） 午前9時30分～
 - ・場 所 北方町南久保山 荒平公園桜記念館 集合
 - ・その他 道具はご持参ください。小雨決行です。
- ※お問い合わせは総合支所地域振興課まで 電話 47-3600

のべおか三二情報

日向金剛

比叡山（ひえいざん）

春夏秋冬と一年中、多くの登山者やロッククライマーが県内外から訪れている比叡山は、昭和14年国の名勝に指定されています。

この名勝とは、日本国内で特に景観が優れている地域や山、溪谷などを指定するもので文部科学省が選定しています。

比叡山は、標高918m、一枚岩の花崗岩が網の瀬川川床から山頂まで約400m続いています。川床から見上げる比叡山は、1・2・3と3つの岩峰からなり、その巨石群が織成す風景はまさに絶景です。

また、中腹には、千畳敷（県道から約100m、徒歩約3分）と呼ばれる岩棚があり、対岸に聳え立つ矢筈岳とその間を流れる網の瀬川溪谷を一望できます。

多くの人々が訪れ、誰もがその雄大さに感動し、その魅力に惹かれる比叡山。まるで、中国山水画のような壮大な景色は、まさに国の名勝としてふさわしく、別名日向金剛と呼ばれる由縁だと言えます。

※4月5日（日）午前9時から山開きが行われます。

ほ な み
農林課だより No.89 「穂・菜・実」

ほなみ（穂波） 波のように揺れる穂＝豊作



●平成20年度宮崎県むらづくりコンクールにおいて奨励賞を受賞

平成21年2月10日、宮崎自治会館において平成20年度宮崎県むらづくりコンクールが開催され、「蔵田地区むらづくり協議会：会長山本確」が奨励賞を受賞しました。

これは、平成17年度プラスワンむらづくり事業により建設された蔵田営農研修館を拠点施設として、地区会が中心となったむらづくりの取り組みが評価され、今回の受賞となったものです。



山本会長の受賞コメント

本事業により、活動の拠点施設である営農研修館が整備されました。

地区会を中心に各組織の連携を図りながら、営農面での技術研修や婦人会の料理研修が行われ、また伝統行事である豊稷祭や恵比寿祭、観音祭の継承、地域内の環境美化活動などを地域ぐるみで行っています。

これからも、更に集落営農活動や各種行事を地域ぐるみの活動として取り組み、活力あるむらづくりに努めていきたいと思えます。

●曾木【荒谷】甲斐義之氏、宮崎県茶共進会において2等に入賞！！



平成21年2月4日、宮崎観光ホテルにおいて平成20年度宮崎県農産園芸特産物総合表彰式が開催され、北方町曾木【荒谷】の甲斐義之さんが宮崎県茶共進会「かまいり製玉緑茶」の部で2等に入賞されました。

宮崎県茶共進会「かまいり製玉緑茶」の部には県内各地から44点の出品があり、県茶業協会、専門家による厳正な審査が行われました。

受賞された甲斐義之さんは、現在茶畑約1haを経営し、品種改良や製茶業の委託など同地区の茶業のプロとして活躍されています。また、地域の担い手として農業経営に熱心に取り組まれています。

●林野火災にご注意を



春先は空気が乾燥するため、林野火災や枯れ草火災の発生しやすい季節です。いったん火災が発生すると、あっという間に燃え広がるが多いため、林野での火気の取り扱いには十分注意しましょう。

◇林野火災を防ぐポイント

- 1 空気が乾燥し、風の強い日は、火入れ、たき火をしないようにしましょう。
- 2 完全に火が消えるまでは、目を離さないようにしましょう。
- 3 屋外でたばこを吸うときは、携帯用の灰皿などを用意し、火のついたたばこを捨てるのは絶対にやめましょう。
- 4 山で作業をする人、入山者、皆さんで協力して林野火災の防止に努めましょう。